

日本放射線技術学会 会員の皆様

放医研は、NIRS/WHO コラボレーションセンターシンポジウムを、下記の通り開催致します。
ご関心のある会員の皆様方には、是非ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。
なお、貴会にご後援をいただいておりますことを申し添えます。
よろしくお願い申し上げます。

記

名 称：NIRS/WHO コラボレーションセンターシンポジウム

「こどもの放射線被ばくを考える」

日 時：2014 年 12 月 8 日（月）9:40-17:15

2014 年 12 月 9 日（火）9:00-17:15

主 催：放射線医学総合研究所

後 援：日本医学放射線学会 / 日本放射線腫瘍学会 / 日本放射線技術学会

日本医学物理学会 / 日本小児放射線学会 / 日本保健物理学会 / 日本放射線影響学会

日本核医学技術学会 / 日本核医学会 / 日本診療放射線技師会（予定も含む）

協 賛：IAEA/WHO

場 所：国際研究交流会館（東京：築地）

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 国立がんセンター内

<http://www.ncc.go.jp/jp/access.html>

参加費：無料

連絡先：参加希望の方は下記までご連絡ください。

放射線医学総合研究所

防護センター運営企画ユニット

〒263-8555 千葉県稲毛区穴川 4-9-1

TEL: 043-206-6291

E-mail: Kids2014@nirs.go.jp

プログラム案(概要:敬称略)

12 月 8 日(月曜日)

基調講演

ローレンス・ラオ（IRQN, ISR）

セッション 1: 医療被ばくの線量評価

ウィズリー・ブラック（フロリダ大学）

鈴木昇一（藤田保健衛生大学）

セッション 2: 医療被ばくに関する疫学研究とリスク評価

ジョン・マシューズ（メルボルン大学）

ケビン・ウラヤマ（東京医科歯科大学）

ロイ・ショア（放影研）

基調講演

医療被ばくの国際動向

マリア・ペレス（WHO）

セッション 3: 医療放射線利用の最適化

マダン・レハーニ（ハーバード、MGH）

フレッド・シャノウン（国連科学委員会）

12月9日(火曜日)

基調講演

中釜齊（国立がん研究センター）

セッション 4: 放射線発がんのメカニズム

柿沼志津子（放医研）

今岡達彦（放医研）

レオ・ゲーベック（MGH）

基調講演

ケナン・オネル（シカゴ大学）

セッション 5: がん予防

尚奕（放医研）

小泉昭夫（京都大学）

森岡孝満（放医研）

セッション 6: リスク・ベネフィットコミュニケーション

マイケル・ボイド（米国 EPA）

ローレンス・ダウアー（メモリアル・スローン・ケタリングがんセンター）

宮寄治（国立成育医療研究センター）

神田玲子（放医研）

アンジェラ・シェーグレン（米国 EPA）

総括

島田義也（放医研）